

指定管理料積算内訳（様式6・7）

県費のみを用いて行う指定管理業務
及び国の交付金等を受けて行う維持
修繕業務の記載例等

令和3年1月

神奈川県県土整備局建築住宅部

公共住宅課

指定管理料積算内訳（県費のみを用いて行う指定管理業務）

(注)これは一つの記載例です。
これ以外の方法で積算内訳を示していただいても構いません。

団体又はグループの名称 _____

申請地域 _____

人件費については、必ず算出方法等を示してください。

指定管理料積算内訳総括表

(税込み/単位:千円)

経費区分	経費項目等		令和4年度				5年度	6年度	7年度	8年度	備考
			維持修繕業務		入居管理業務等	合計	合計	合計	合計	合計	
			県費のみ	国交付金等務							
人件費	正規職員	専従職員	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	同左	同左	同左	同左	・業務区分ごとの人件費の算出方法等は内訳1～2参照
		兼務職員	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	同左	同左	同左	同左	
	臨時職員	専従職員	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	同左	同左	同左	同左	
		兼務職員	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	同左	同左	同左	同左	
小計 A			〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	同左	同左	同左	同左	
事務費	消耗品費		〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	同左	同左	同左	同左	
	事務機器賃借料(リース料)等				〇〇	〇〇	同左	同左	同左	同左	
	通信費		〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	同左	同左	同左	同左	
	旅費交通費		〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	同左	同左	同左	同左	
	支払手数料				〇〇	〇〇	同左	同左	同左	同左	
	租税公課				〇〇	〇〇	同左	同左	同左	同左	
小計 B			〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	同左	同左	同左	同左	
合計 C=A+B			〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	同左	同左	同左	同左	

必要となる事務費項目及び金額を記載してください。

(注1) これは県営住宅等の記載例です。

(注2) これは一つの記載例です。これ以外の方法で積算内訳を示していただいても構いません。

ただし、申請書等様式集の様式4「収支計画書(県費のみを用いて行う指定管理業務)」に示された指定管理料の積算内訳を、人件費と事務費に分けてそれぞれの経費項目ごとの積算内訳を示すとともに、その合計を示してください。

(注3) この記載例は、人件費については、「事業計画書 項目番号2」の中の「職員の内訳」の「県営住宅等 実質的な指定管理業務従事職員の内訳」を使って積算する方法による例示です。「事業計画書」の「職員の内訳」において、県営住宅等の指定管理業務に実質的に従事する職員数を分けて把握しておく、この方法を使うことができます。

内訳 1 (人件費の算出方法等—維持修繕業務(県費のみ)—)

維持修繕業務(県費のみ)に係る人件費

〇〇〇〇〇千円 (=正規職員〇〇〇〇千円 (①+②+③) +臨時職員〇〇〇〇千円 (④+⑤))

①正規職員(管理職)

人件費単価 (千円) A	実質従事職 員数(人) B	従事時間数、 月数等 C	人件費(千円) D=A×B×C	備考
				(例) 人件費単価は、令和2年度の〇〇社の管理職の人件費予算単価で、給与・賞与、各種手当、」…を含んでいる。

②正規職員(係長等)

人件費単価 (千円) A	実質従事職 員数(人) B	従事時間数、 月数等 C	人件費(千円) D=A×B×C	備考
				(例) 人件費単価は、平令和2年度の〇〇社の係長の人件費予算単価で、給与・賞与、各種手当、」…を含んでいる。

③正規職員(一般職員)

人件費単価 (千円) A	実質従事職 員数(人) B	従事時間数、 月数等 C	人件費(千円) D=A×B×C	備考
				(例) 人件費単価は、令和2年度の〇〇社の一般職員の人件費予算単価で、給与・賞与、各種手当、」…を含んでいる。

④臨時職員(非常勤職員)

人件費単価 (千円) A	実質従事職 員数(人) B	従事時間数、 月数等 C	人件費(千円) D=A×B×C	備考
				(例) 人件費単価は、令和2年度の〇〇社の報酬単価。

⑤臨時職員(アルバイト)

人件費単価 (千円) A	実質従事職 員数(人) B	従事時間数、 月数等 C	人件費(千円) D=A×B×C	備考
				(例) 人件費単価は、令和2年度の〇〇社のアルバイト賃単価。

「事業計画書 項目番号2」の中の「職員の内訳」の「県営住宅等
実質的な指定管理業務従事職員の内訳」の職員数を使う方法

積算の考え方等の説明

(注1) これは県営住宅等の記載例です。

(注2) これは一つの記載例です。これ以外の方法で積算内訳を示していただいても構いません。

(注3) 実情に合わせて人件費の内容等を記入し、備考欄や表以外で説明を加えるなど、積算内訳とその考え方が分かるように示してください。説明に応じて表やページを増やしていただいても構いません。

(注4) この記載例は、人件費については、「事業計画書 項目番号2」の中の「職員の内訳」の「県営住宅等 実質的な指定管理業務従事職員の内訳」を使って積算する方法による例示です。「事業計画書」の「職員の内訳」において、県営住宅等の指定管理業務に実質的に従事する職員数を分けて把握しておく、この方法を使うことができます。

内訳2（人件費の算出方法等—入居管理業務等—）

入居管理業務等に係る人件費

〇〇〇〇〇千円（＝正規職員〇〇〇〇千円（①＋②＋③）＋臨時職員〇〇〇〇千円（④＋⑤）

①正規職員（管理職）

人件費単価 （千円） A	実質従事職 員数（人） B	従事時間数、 月数等 C	人件費（千円） D=A×B×C	備 考
				（例）人件費単価は、令和2年度の〇〇社の管理職の人件費予算単価で、給与・賞与、各種手当、」…を含んでいる。

②正規職員（係長等）

人件費単価 （千円） A	実質従事職 員数（人） B	従事時間数、 月数等 C	人件費（千円） D=A×B×C	備 考
				（例）人件費単価は、令和2年度の〇〇社の係長の人件費予算単価で、給与・賞与、各種手当、」…を含んでいる。

③正規職員（一般職員）

人件費単価 （千円） A	実質従事職 員数（人） B	従事時間数、 月数等 C	人件費（千円） D=A×B×C	備 考
				（例）人件費単価は、令和2年度の〇〇社の一般職員の人件費予算単価で、給与・賞与、各種手当、」…を含んでいる。

④臨時職員（非常勤職員）

人件費単価 （千円） A	実質従事職 員数（人） B	従事時間数、 月数等 C	人件費（千円） D=A×B×C	備 考
				（例）人件費単価は、令和2年度の〇〇社の報酬単価。

⑤臨時職員（アルバイト）

人件費単価 （千円） A	実質従事職 員数（人） B	従事時間数、 月数等 C	人件費（千円） D=A×B×C	備 考
				（例）人件費単価は、令和2年度の〇〇社のアルバイト賃金単価。

「事業計画書 項目番号2」の中の「職員の内訳」の「県営住宅等実質的な指定管理業務従事職員の内訳」の職員数を使う方法
積算の考え方等の説明

- （注1） これは県営住宅等の記載例です。
- （注2） これは一つの記載例です。これ以外の方法で積算内訳を示していただいても構いません。
- （注3） 実情に合わせて人件費の内容等を記入し、備考欄や表以外で説明を加えるなど、積算内訳とその考え方が分かるように示してください。説明に応じて表やページを増やしていただいても構いません。
- （注4） この記載例は、人件費については、「事業計画書 項目番号2」の中の「職員の内訳」の「県営住宅等 実質的な指定管理業務従事職員の内訳」を使って積算する方法による例示です。「事業計画書」の「職員の内訳」において、県営住宅等の指定管理業務に実質的に従事する職員数を分けて把握しておく、この方法を使うことができます。

指定管理料積算内訳（国の交付金等を受けて行う維持修繕業務）

(注)これは一つの記載例です。
これ以外の方法で積算内訳を示していただいても構いません。

団体又はグループの名称 _____
申請地域 _____

人件費については、必ず算出方法等を示してください。

指定管理料積算内訳総括表

(税込み/単位:千円)

経費区分	経費項目等		令和4年度			5年度	6年度	7年度	8年度	備考	
			維持修繕業務		入居管理業務等	合計	合計	合計	合計		合計
			県費のみ	国交付金等務							
人件費	正規職員	専従職員	/	/	/	同左	同左	同左	同左	・業務区分ごとの人件費の算出方法等は内訳1～2参照	
		兼務職員	/	〇〇	〇〇	同左	同左	同左	同左		
	臨時職員	専従職員	/	/	/	同左	同左	同左	同左		
		兼務職員	/	〇〇	〇〇	同左	同左	同左	同左		
小計 A			/	〇〇	〇〇	同左	同左	同左	同左		
事務費	消耗品費		/	〇〇	〇〇	同左	同左	同左	同左		
	事務機器賃借料(リース料)等		/	/	〇〇	同左	同左	同左	同左		
	通信費		/	〇〇	〇〇	同左	同左	同左	同左		
	旅費交通費		/	〇〇	〇〇	同左	同左	同左	同左		
	支払手数料		/	/	〇〇	同左	同左	同左	同左		
	租税公課		/	/	〇〇	同左	同左	同左	同左		
小計 B			/	〇〇	〇〇	同左	同左	同左	同左		
合計 C=A+B			/	〇〇	〇〇	同左	同左	同左	同左		

必要となる事務費項目及び金額を記載してください。

(注1) これは国の交付金等を受けて行う指定管理業務の記載例です。

(注2) これは一つの記載例です。これ以外の方法で積算内訳を示していただいても構いません。

ただし、申請書等様式集の様式5「収支計画書(国の交付金等を受けて行う維持修繕業務)」に示された指定管理料の積算内訳を、人件費と事務費に分けてそれぞれの経費項目ごとの積算内訳を示すとともに、その合計を示してください。

(注3) この記載例は、人件費については、「事業計画書 項目番号2」の中の「職員の内訳」の「県営住宅等 実質的な指定管理業務従事職員の内訳」を使って積算する方法による例示です。「事業計画書」の「職員の内訳」において、県営住宅等の指定管理業務に実質的に従事する職員数を分けて把握しておく、この方法を使うことができます。

内訳1（人件費の算出方法等—維持修繕費（国交付金等）—）

維持修繕業務（国交付金等）に係る人件費

〇〇〇〇〇千円（＝正規職員〇〇〇〇千円（①＋②＋③）＋臨時職員〇〇〇〇千円（④＋⑤）

①正規職員（管理職）

人件費単価 （千円） A	実質従事職 員数（人） B	従事時間数、 月数等 C	人件費（千円） D=A×B×C	備 考
				（例）人件費単価は、令和2年度の〇〇社の管理職の人件費予算単価で、給与・賞与、各種手当、」…を含んでいる。

②正規職員（係長等）

人件費単価 （千円） A	実質従事職 員数（人） B	従事時間数、 月数等 C	人件費（千円） D=A×B×C	備 考
				（例）人件費単価は、令和2年度の〇〇社の係長の人件費予算単価で、給与・賞与、各種手当、」…を含んでいる。

③正規職員（一般職員）

人件費単価 （千円） A	実質従事職 員数（人） B	従事時間数、 月数等 C	人件費（千円） D=A×B×C	備 考
				（例）人件費単価は、令和2年度の〇〇社の一般職員の人件費予算単価で、給与・賞与、各種手当、」…を含んでいる。

④臨時職員（非常勤職員）

人件費単価 （千円） A	実質従事職 員数（人） B	従事時間数、 月数等 C	人件費（千円） D=A×B×C	備 考
				（例）人件費単価は、令和2年度の〇〇社の報酬単価。

⑤臨時職員（アルバイト）

人件費単価 （千円） A	実質従事職 員数（人） B	従事時間数、 月数等 C	人件費（千円） D=A×B×C	備 考
				（例）人件費単価は、令和2年度の〇〇社のアルバイト賃金単価。

「事業計画書 項目番号2」の中の「職員の内訳」の「県営住宅等実質的な指定管理業務従事職員の内訳」の職員数を使う方法 積算の考え方等の説明

- (注1) これは国の交付金等を受けて行う指定管理業務の記載例です。
- (注2) これは一つの記載例です。これ以外の方法で積算内訳を示していただいても構いません。
- (注3) 実情に合わせて人件費の内容等を記入し、備考欄や表以外で説明を加えるなど、積算内訳とその考え方が分かるように示してください。説明に応じて表やページを増やしていただいても構いません。
- (注4) この記載例は、人件費については、「事業計画書 項目番号2」の中の「職員の内訳」の「県営住宅等、実質的な指定管理業務従事職員の内訳」を使って積算する方法による例示です。「事業計画書」の「職員の内訳」において、県営住宅等のそれぞれの指定管理業務に実質的に従事する職員数を分けて把握しておく、この方法を使うことができます。